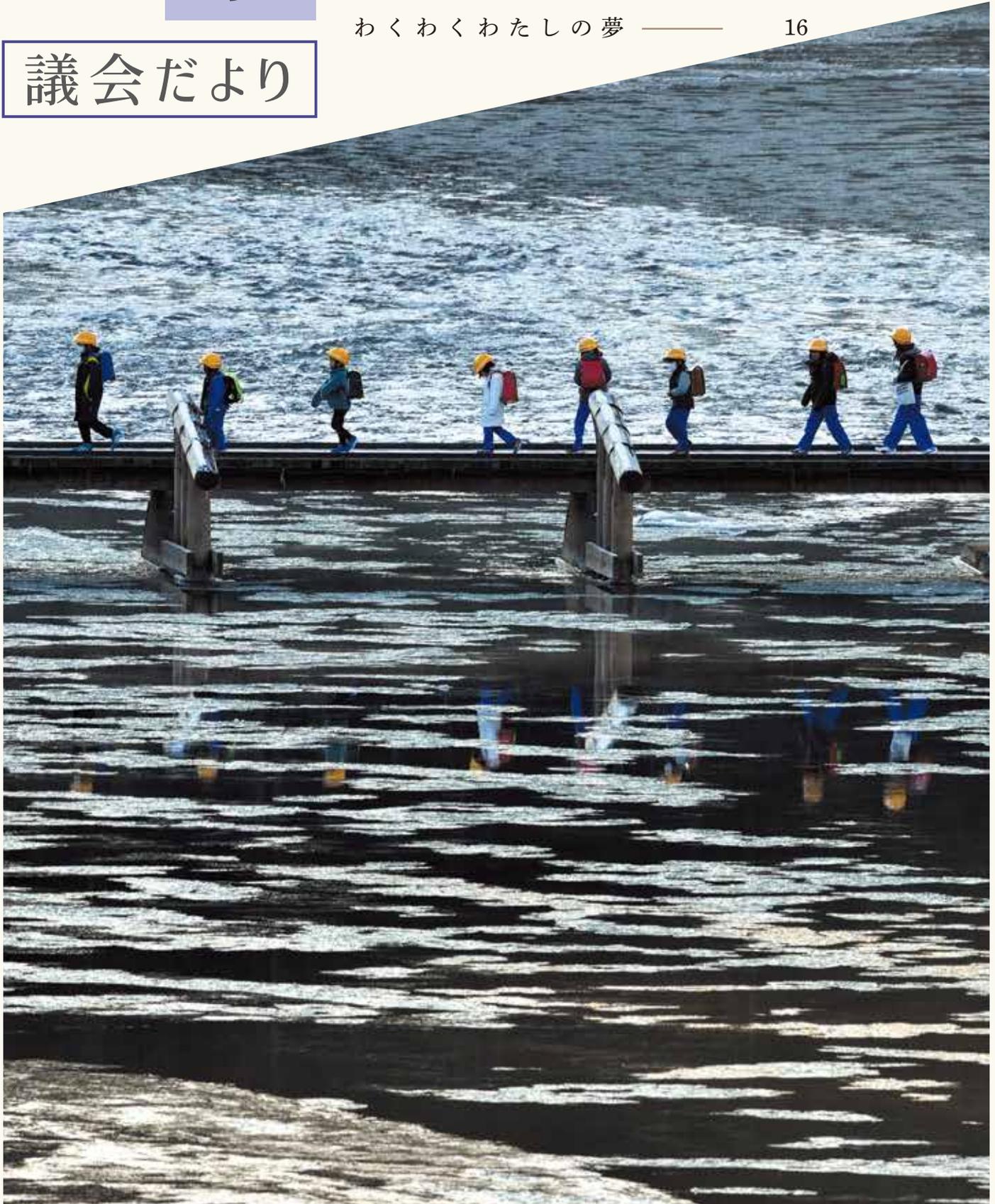


大 だいご 子

目次

令和元年第4回定例会	—	2～4
一般質問目次	—	5
一般質問	—	6～15
永年功労者表彰	—	16
わくわくわたしの夢	—	16

議会だより



シリーズ大子の風景⑮ 「寒い朝」 奥久慈大子フォトコンテスト作品から

(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)

令和元年第4回定例会

令和元年度一般会計補正予算(第3～5号)

29億8,658万5千円の増額

令和元年第4回定例会が12月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。

条例の制定・改正、令和元年度一般会計補正予算など、町長から提出された議案15件を審議し、原案どおり可決されました。

一般質問では10人が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

一般会計補正予算(第3～5号)の主な歳入歳出は、別表1のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ131億797万6千円となりました。歳入歳出予算のほか、債務負担行為の追加18件、地方債補正の追加と変更がありました。

今回の補正額のうち、29億4,548万円が災害対応分でした。

特別会計補正予算

- ◆令和元年度太子町介護保険特別会計補正予算(第3～4号)の補正額は、416万4千円(災害対応分)の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ26億6,479万3千円となります。
- ◆令和元年度太子町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)の補正額は、102万8千円(災害対応分)の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億1,943万4千円となります。
- ◆令和元年度太子町水道事業会計補正予算(第2号)の収益的支出の補正額は、785万円(災害対応分)の増額で、補正後の予算の総額は4億8,644万6千円、資本的支出の補正額は、2億6,438万円(災害対応分)で、補正後の予算の総額は5億3,589万9千円となります。

(別表1)

一般会計補正予算(第3号)の主なもの(専決処分)

歳入	補正額
地方交付税	1,960万円

歳出	補正額
豚コレラ侵入防止緊急対策事業費補助金	1,960万円

一般会計補正予算(第4号)の主なもの(専決処分)

歳入	補正額
国庫支出金	3億3,670万6千円
県支出金	3億3,391万3千円
寄附金	1億500万円
町債	2億8,160万円

(別表1つづき)

歳 出	補 正 額
災害救助費	1億9,599万8千円
環境衛生費	2億4,466万円
土木総務費	2億1,271万円
農林水産業施設災害復旧費	1億573万3千円
公共土木施設災害復旧費	4億6,435万2千円

一般会計補正予算（第5号）の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	6億8,583万1千円
県支出金	5,711万6千円
町債	8億2,280万円

歳 出	補 正 額
新庁舎建設事業費	2,820万6千円
福祉作業所開設事業費	876万円
環境衛生費	12億1,106万3千円
し尿処理費	2,118万8千円
強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業補助金	6,480万3千円
消防ポンプ車購入費	2,061万円
農業施設補助災害復旧費	1億2,910万円

人権擁護委員候補者に根田里美氏を推薦同意

人権擁護委員候補者に根田里美氏（大字池田）を推薦することに同意しました。

可決・承認された
議案の主な内容は

〔町長提出議案第97号〕

◇令和元年台風第19号による災害被害者に対する町税等の減免に関する条例の専決処分の承認を求めることについて

○制定の理由

・令和元年台風第19号により甚大な被害を受けた災害被害者の負担の軽減を図るため、令和元年度に課する町民税、固定資産税、国民健康保険税及び介護保険料の軽減又は免除に関する条例を制定することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第1項の規定により令和元年11月22日に専決処分をしたので、議会の承認を求めます。

〔町長提出議案第103号〕
◇大字町営研修センターの設置及び管理に関する条例

○制定の理由

・東京理科大学大字研修センターについて令和2年1月5日で運用が終了され、同年4月1日から町が新たに大学等の研修施設として運用を開始するため、その設置及び管理に関する条例を制定するものです。

〔町長提出議案第105号〕
◇大字町営浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○改正の理由

・近年の物件費の高騰及び令和元年10月の消費税率等の引き上げに伴い、町営浄化槽の設置分担金を令和2年4月から改定するため、条例の一部を改正するものです。

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第 97 号	令和元年台風第 19 号による災害被害者に対する町税等の減免に関する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第 98 号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第 3 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第 99 号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第 100 号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第 101 号	令和元年度大子町水道事業会計補正予算（第 2 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第 102 号	大子町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決
議案第 103 号	大子町営研修センターの設置及び管理に関する条例	原案可決
議案第 104 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第 105 号	大子町営浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 106 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第 107 号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議案第 108 号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 109 号	令和元年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 110 号	大子町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 111 号	大子町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について（総務委員会）	原案承認
	閉会中の継続審査の申し出について（文教厚生委員会）	原案承認

あなたから出された請願・陳情等は

請願・陳情等名	請願・陳情等者	付託委員会	結 果
後期高齢者の医療費自己負担 2 割への引き上げに反対する請願	水戸市城南 3-15-24 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行 茨城県高齢期運動連絡会 会長 近沢 重男	文教厚生委員会	継続審査
「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」に関する要望	沖縄県那覇市松尾2-2-26-6号 沖縄弁護士会 会長 天方 徹	総務委員会	継続審査

令和元年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

10人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
庁舎建設予定地を旧二高跡地に リスカ(株)武藤会長を特別名誉町民に	P. 6	岡田 敏克 議員
避難計画の中に強制的な避難を 乳がん撲滅のため自己触診手袋啓発を	P. 7	野内 健一 議員
新庁舎建設予定地変更の経緯と理由は 黒沢小学校跡地利用の進捗状況は	P. 8	金澤 真人 議員
町災害対策本部の設置状況は 幸せな町づくりの具体的な施策は	P. 9	菊池 富也 議員
台風19号による今後の取り組みは 半減している観光産業の支援策は	P.10	須藤 明 議員
今回、浸水した地域は 土砂災害警戒地域の対応は 新庁舎建設について	P.11	佐藤 正弘 議員
連絡会議をうけての対応は 新庁舎建設予定地の再検討について 人事院勧告に伴う給与改定について	P.12	吉成 好信 議員
防災対策室や専門職員の配置を	P.13	藤田 稔 議員
早期の河川改修をすべきでは 衛生センター、復旧補助金を使うべきでは 家屋解体、店舗、工場に支援を	P.14	齋藤 忠一 議員
自主防災組織間で災害協定を 新庁舎建設地はさまざまな角度から検討を	P.15	菊池 靖一 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで議会中継見ませんか!

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



問 庁舎建設予定地を旧二高跡地に

答 候補地の一つとして検討したい



岡田敏克 議員

【岡田】 今回の台風19号では議員15名中、私を含め3議員が床上浸水の被害を受けた。二度とこのような災害を起こさないためにも、しっかりと検証を行いたい。被災者は心身共に疲れ、やる気をなくし、くじけそうな人もいる。自分自身、家族のためにも力を振り絞って頑張つてほしいし、一人ではないことを忘れないでほしい。今回の災害で町民は多くのことを学んだと思う。現在の庁舎建設予

定地を白紙にして新たな建設地の選定をしてはどうか。案としては、旧大子二高跡地を。これに関しては大子町内の商店の多くの人が未だに現在の地を望む声が多い。もう一度協議して時間をかけても結論を出してほしい。町が二分して争うことになりかねない。町長の考えは。

【岡田】 町民の意見をよく聞いて、後で問題のないように親切丁寧の説明をし、ある程度納得するような機会を設けてほしい。

【町長】 減災していく意味でも十分に検討していきたい。

【岡田】 久慈川、押川の堤防から越水したが、設計変更時、越水すると再三申し上げ、皆さんも聞いているはずである。これが現実となった。今後、久慈川や押川の堤防等の改修整備をすべきと思うが。

【総務課長】 堤防のかさ上げや川底

の掘削が必要。県や国土交通省はじめ国機関に強く要望していく。また大子工務所では河川越水等の原因究明と改良復旧方法を検討しているとのことである。

【岡田】 久慈川ばかりではなく、押川の堤防改修整備も一緒にやってほしい。

【総務課長】 押川について



台風19号により浸水したFMだいで

も県に要望していきたい。

【岡田】 現在の跡地には建屋は無理なので、イベント広場として考えてはどうか。

【総務課長】 跡地利用の選択肢として検討していきたい。

リスカ(株)武藤会長を特別名誉町民に

【岡田】 平成20年に1億円、このたび災害見舞金としてさらに1億円寄附された。武藤会長は大子町出身であり、大子町の誇りである。平成30年2月に特別名誉町民となった茨城大学名誉教授の菊池龍三郎氏と同様、特別名誉町民に推挙したい。町としてどう思っているのか伺う。

【総務課長】 議員の考えもあることから、いろいろな方面の方々の意見を伺った上で判断したいと考えている。

問 避難計画の中に強制的な避難を

答 今後避難命令を含める考え有り



野内健一 議員

24年12月に改訂している。

ここでいう要援護者とは、寝たきりの高齢者や重い障害のある方などで、単独では動けなくて他者の支援がなければ避難することができない在宅の方が対象となっている。また、福祉課では年度初めに民生委員児童委員の協力を仰ぎ、担当区域内の対象者をリストアップしている。今回の台風19号の被災前時点で、町内の名簿登録者は332名で、安否確認や避難誘導を迅速に行うために、要援護者の状況に応じた個別支援計画が必要になっていく。災害時要援護者避難支援計画では、このような要援護者名簿や個別支援計画を整備することは大前提であるが、一旦有事の際には、被害拡大を防ぐために、行政の対応だけでは限界があるため、自主防災組織など地域住民の方々がお互いに助け合い、防災活動に取り組みことも重要視している。

【野内】この計画書の中に、強制的な避難という項目を加えることは無理か。多くの消防団の方や、行政区の役員の方が大変苦労されたことを思うと、是非とも加えてほしいと考えるが。

【福祉課長】人命にかかわることを思うと、今後そのような避難命令的なことも中に含める必要があると考えている。

乳がん撲滅のため

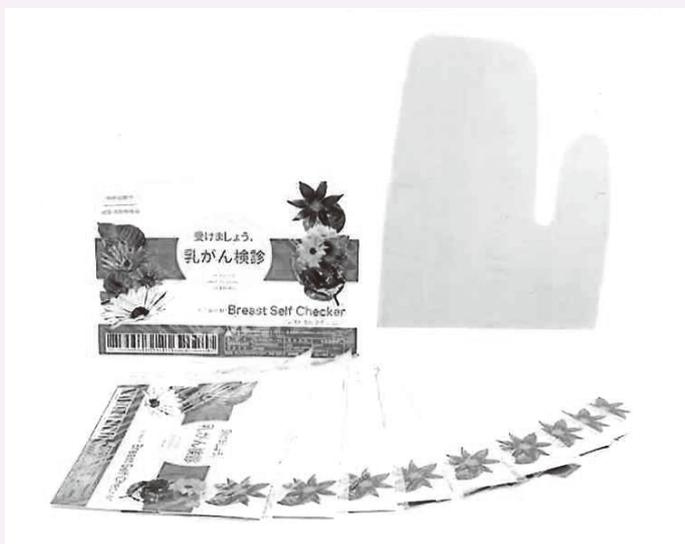
自己触診手袋啓発を

【野内】女性の乳がんは、早く発見して治療すれば完治しやすいがんであるとの

事であるが、早期発見は大変難しい。他の自治体では自分で触って、しこりを発見しやすい方法として、自己触診用の専用手袋を採用する所があるが、大子町としてはこの方法をどう思うか。

【健康増進課長】乳がんを早期発見するためには定期的な乳がん検診のほか、月一回の自己触診を行うことが大変有効とされている。近年発売されるようになった、自己触診に用いる手袋については、肌面に二重構造の特殊フィルムになっており、肌を滑りやすく、素手よりもしこりなどの異常を感じやすいと言われている。

【野内】この計画書の中に、強制的な避難という項目を加えることは無理か。多くの消防団の方や、行政区の役員の方が大変苦労されたことを思うと、是非とも加えてほしいと考えるが。



乳がんの早期発見のための自己触診手袋

問 新庁舎建設予定地変更の経緯と理由は

答 災害をふまえて浸水の影響を受けない場所を検討



金澤眞人 議員

に対する新たな補助制度は示されていないが、進入路や公用車駐車場なども役場機能緊急保全事業の対象にはなる。

【金澤】被災現場へのボラnteアの派遣はスムーズにもれなく対応できたのか。

【福祉課長】ボラnteア受付総数は3,775名で590件の要請に派遣した。社会福祉協議会と緊密な連携をとって対応している。

【金澤】被災した方々、特に高齢者に対し心身のケアをしてほしいとの町民からの要望があったが、町の対

応は。

【健康増進課長】被災後すぐに保健師を中心に高齢者のみの世帯を訪問し、健康面の確認、相談に対応し、現在は精神保健福祉士を中



早期移転が望まれる役場庁舎

心に心のケアの訪問をしている。高齢者が閉じこもり孤独にならないよう、また健康状態が悪くならないように支援していく。

【金澤】今後の災害、特に水害について町はどのような考えているのか伺う。

【総務課長】国レベルでは質問にあるように防災集団移転促進事業があるが、町で取り組むにはさまざまなハードルがあり、まずは河川改修や内水の処理などの減災対策などそれぞれの地域にあった生活再建を推進する。

黒沢小学校跡地利用の進捗状況は

【金澤】ルネサンス高校の利用が決定している黒沢小学校の跡地だが、現在ルネサンス高校とのやりとりの状況は。

【総務課長】令和2年4月の移転開校に向けてルネサンスアカデミー株式会社と貸し付けの条件など協議し

ている。条件がまとまれば町有財産処理活用審議会に諮る。

【金澤】ドクターヘリの着陸ポイントになっているグラウンドに芝を張り、砂塵対策と同時にグラウンドゴルフ場としての地元の利用、また一部教室や体育館の利用など地元の要望に対し状況は。

【総務課長】ルネサンスアカデミー株式会社の代表取締役から、教室、体育館、グラウンドについてルールを作り、地元の人利用を考えていくとの話であり、今後細部について話をしていく。

【金澤】通常学校に来る生徒数、また先生の数はどのくらいなのか。

【総務課長】職員の数については把握していないが、生徒1名につき年1回、3泊4日で大子町に来ている。今年度の生徒数は855人、延べ3,420人の生徒が来校することになる。

問 町災害対策本部の設置状況は

答 電話により警戒本部から移行した



菊池富也 議員

ず、電話で連絡した。

【菊池】 12日の午後4時では、既に大雨となっており、遅かったのではないかと。

【総務課長】 大雨の情報は入手していたので、11日に一部課長を招集し、連絡会議を開催し、他の管理職は自宅待機の指示をした。

【菊池】 12日の朝に災害対策本部を設置して活動していれば、避難所の開設や住民への周知、公用車の移動などもっと活動できたのではないかと。

【町長】 11日夕方に指示をし、解散したのは課題が残る結果であった。今後、そのようなことがないように検討したい。

【菊池】 今回の被害は住居だけでなく、事業所や倉庫等にも及び、機械設備や商品、原材料等も被害を受け

ている。国や県の対応はもろろのこと、町でも独自の支援をすべきではないか。

【町長】 中小企業も甚大な被害を受けたことは承知している。国や県の支援状況を見たらうえで対応する。

【菊池】 福祉作業所、衛生センター、水道施設、FMだいが、観光や今の今後の対応は。

【財政課長】 福祉作業所は、

旧ウエルシア跡地を使用する。衛生センターは、同じ敷地内に新設を予定。水道施設は令和2年度中の復旧を予定。FMだいがは、他の場所に移転することで総務省と協議中である。

【観光商工課長】 被害が大きかった観光やなは、組合のあり方も含めて検討する。

【菊池】 畜産農業協同組合も被害が大きく、11月の市場を開催できなかった。手数料収入がなければ組合の運営もできなくなる。後継者問題や組合運営の支援等町で対策を講ずるべきでは

ないか。

【町長】 被害は甚大だと聞いているし、手数料の問題も聞いている。今後、後継者問題、組合の運営の問題等は、市場の開催を含めて前向きに検討したい。

【菊池】 大子の和牛は、特に常陸牛として有名である。これからも畜産は、町の農業の中心となるよう支援すべきであると考えられる。

【町長】 町の農業が衰退しないよう支援する。

幸せな町づくりの具体的な施策は

【菊池】 公約にあった「幸せな町づくり」の施策は。

【町長】 町が輝くビジョンを見据えた事業を進める。町民の安心、安全のための施策、就任した時の施策をバランス良く進める。農業に関しては、他市町村、国・県との連携により衰退しないよう持続できる施策を打ち出す考えである。



人気の常陸牛



被災した家畜市場競り会場

問 台風19号による今後の取り組みは

答 しっかりと予算措置をしていく



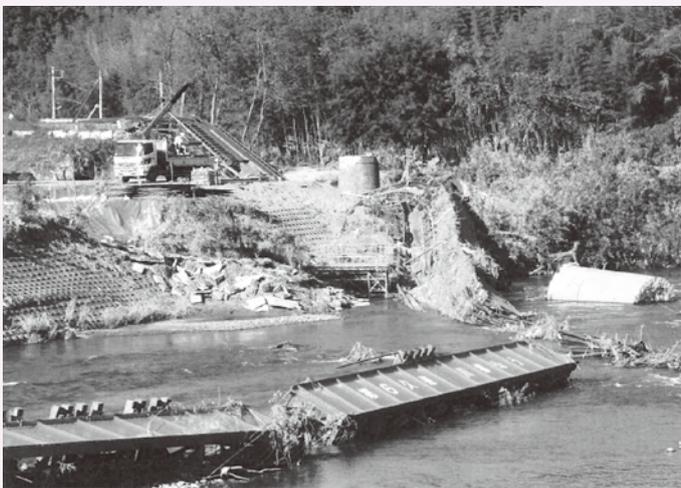
須藤 明 議員

情報収集に取りかかっており、関係各位には十分備えるよう指示をした。今回の被害においては、一日も早い復旧・復興、生活となりわいの再建に向け、積極的に取り組むべく施策を取りまとめ、しっかりとした予算措置をとって

災対策、減災対策という観点から、ポンプの増設または大型化の検討をすべきではないか。町の考えは。【総務課長】恒久的な排水計画の策定までは時間がかかると思われる。債務負担行為の額の上限としている

【須藤】 去る10月11日、気象庁の記者発表があった。大型で非常に強い台風19号は、12日から13日にかけて東日本を中心に猛烈な風が吹き、記録的な暴風雨となり、大雨特別警報を発する可能性があると報じている。町長は、発表を聞いてどう感じたか。また、伊豆半島に上陸、広い範囲で記録的な爪痕を残したが、被害状況をどう捉え、どう取り組んでいくのか。

【須藤】 昭和61年8月5日台風15号によって浸水被害が発生した。その時の教訓をもとに町内3カ所に計3台の排水ポンプが整備された。防



台風19号の爪痕

が、緊急時に排水ポンプ車の導入を予定している。

【須藤】 今回の町の情報伝達でも多くの方よりご意見を頂いた。警戒レベル3と4という放送が流れても、うちは大丈夫といった動かない人が多かった。「どこでこの場所では何々が起こっている、至急避難してください。」旨の具体的情報も取り入れた防災情報の発表は考えられないか。

【総務課長】 内閣府のガイドライン改定を受け直感的に理解できるように5段階の警戒レベルを用いた避難勧告等の発令をしているところである。より効果的でわかりやすい情報伝達について、防災関係者の意見を伺いながら検討したい。

一人一泊あたり5千円補助するふっこう割を設けた。温泉旅館が浸水したり、りんご園が風評被害に遭うなど大きな打撃を受けた大子町。12月中旬の開始を目指すところだが、町はこれらの支援策についてどのような役割を果たすのか。

【観光商工課長】 町の役割として、宿泊を目的に来町される観光客の誘客を図るため、冬のイベントを企画し積極的なPRを行い、誘客につなげていきたい。

【須藤】 観光振興基本計画を策定して来年度は3年目に入る。数値目標が設定されているが、新たな観光客誘致に向けた具体的振興策を考えているのか。

【観光商工課長】 観光協会と深く連携をとり、今まで以上に業務の充実を図っていききたい。新たな観光基本計画に載っているアウトドアやサイクリングも充実させていきたい。

半減している観光産業の支援策は

【須藤】 産業の振興、特に半減している観光の振興を図る必要がある。政府は被災地の宿泊施設の宿泊料を

問 今回、浸水した地域は

答 ハザードマップでは浸水想定区域とされている



佐藤正弘 議員

【佐藤】 今回の台風19号は中小企業等で177件とされているが被害の全容はどのようになっているのか。

【町長】 久慈川、押川が氾濫し、河川沿いの住宅あるいは事業所、医療機関などが浸水し、久慈川に架かる水郡線の鉄橋が流されるなど町内の広範囲にわたり甚大な被害が発生した。住宅の被害は全壊が35棟、大規模半壊が107棟、半壊が304棟、一部損壊が



水没した衛生センター

137棟と現在把握している合計は583棟となっている。また、公共施設の被害として、役場階、第一分庁舎一階、第二分室、公用車21台、衛生センター、松沼集会所、旧高齢者センターなどが浸水した。

【佐藤】 今回、浸水した地域は、洪水ハザードマップではどのようになっているのか。

【総務課長】 今回の台風による災害を受けた浸水地域は、すべて、ハザードマップでは、洪水浸水想定区域に含まれていた。



水没した役場庁舎

【佐藤】 町の被災者支援はどのようになっているのか。

【総務課長】 被災の程度に応じて、最大20万円支給する大子町災害見舞金制度がある。また、罹災された住宅を被災者にかわり、町が住宅の応急修理する制度、

被災者生活の再建支援金は町独自に対象世帯を半壊世帯まで拡充し25万円支給する形で現在進めている。

【佐藤】 各避難所に何名の職員を配置したのか。

洪水が大きな被害をもたらした。しかし、大子町には、災害危険箇所が600カ所以上ある。半数が土砂災害の警戒または特別警戒地域に指定されている。指定外地域の今後の動向は。

【総務課長】 各避難所の職員の配置については、1名から2名で基本的に対応した。

【佐藤】 避難者はさまざまに要求をもち、避難した人々を安心させるのには4〜5名必要である。今後の改定の中で活かしていくべきではないのか。

【総務課長】 今回の経験をもとに、例えば、記録、報道対応など具体的な課題も幾つか挙がっている。避難してきた方々をどのように受け入れ、安心して過ごしていたかどうか、人員の配置についても当然関係するものと思っている。

土砂災害警戒地域の対応は

【佐藤】 今回の台風では、

【町長】 新庁舎の建設場所については、浸水等の影響を受けない安全な位置を含め、現庁舎の跡地利用についても早急に検討する必要があると考えている。

新庁舎建設について

【佐藤】 町長は庁舎建設に

関し、現行の場所はふさわしくないとしているがどのように考えているのか。

【町長】 新庁舎の建設場所

については、浸水等の影響を受けない安全な位置を含め、現庁舎の跡地利用についても早急に検討する必要があると考えている。

問 連絡会議をうけての対応は

答 職務を全うするため必要な措置をとる旨伝えた



吉成好信 議員

【吉成】10月11日午後3時30分に災害対策連絡会議を立ち上げた。台風15号は台風、19号は雨台風だとテレビ等で放送されていた。気象庁でも「自分の命は自分で守ってください」と繰り返し放送をしていた。会議を開いた後、どのように対応したのか。連絡会議のメンバーは、伝達ができたのか何う。

【総務課長】初動態勢としての連絡会議は、町長、副町長、教育長、総務課長、

農林課長、建設課長、福祉課長、教育委員会事務局長、水道課長、消防長、このメンバーで初動態勢の話し合いを行った。会議で雨が非常に心配されるので、自分の仕事、自分のところの職務を全うできるような必要な措置をとってほしいと伝えた。また総務課長から、その日の夕方全職員に対して、雨が非常に心配



安心・安全な場所への検討を

され、甚大な被害が想定されるため、状況が進むことによって、一次体制、二次体制、三次体制と協力が必要になるので、十分心づもりをし、連絡の取れる態勢でいるよう全職員に連絡を取ったところである。

新庁舎建設予定地の再検討について

【吉成】11月1日の新聞に報道されたが、浸水対策で移転場所を今後検討していくとのことだが、竣工期日が決まっているわけである。水害あるいは土砂災害の影響をうけない場所、町の衰退を避けることができる場所でない問題になるのではないかとにかく現場機能が十分に発揮できるような、災害時に対策本部を含めて安全・安心なまちづくりができるような場所の検討をしていただきたいがどうか。

【総務課長】新庁舎の建設予定地の再検討について

は、庁舎の安全性や建設の早期実現性などを考慮した上で候補地の選定をしていくという基本的な考えである。

【町長】今まで使ってきている設計に関するお金もあることから、今まで庁舎に費やしてきたお金、それから町の方々の被害、そしてもし移ることがあれば、そこへの交通手段、もろもろを含め検討していきたい。

人事院勧告に伴う給与改定について

【吉成】人事院は8月7日本年度の官民格差、月例給与387円、0.09%、一時金に0.05月引き上げる勧告を行ったが、職員は精一杯頑張っているのに年内支給を考えては。

【総務課長】令和2年第1回定例会に上程し年度内支給する。

問 防災対策室や専門職員の配置を

答 専任の防災担当配置を検討する



藤田 稔 議員

る作業も計画していき

るのか確認して検討した

【藤田】 久慈川、押川、滝川も氾濫し甚大な被害が発生した。南田気地区をはじめ、現状では、今後同様の災害が起きる不安がある。早急な対応が必要である。町では国や県からどのような

【藤田】 土砂災害の発生や浸水が想定される避難所や避難場所の見直し、避難所での対応、小・中学校への最低限の飲料水の備蓄等今までに何回も質問してきた。毛布や飲料水等3日間の生活できる体制は必要と考えるがどうか。

【総務課長】 茨城県としては、改良・改修等十分検討を進めているところだと聞いている。

【総務課長】 飲料水その他の備蓄品の重要性については、今回の災害で改めて認識した。在庫の管理問題から各学校については今後の課題とする。

【藤田】 松沼橋の「千石」さん付近に、木の水門があったと聞いている。水門があれば激流等は防ぐことができたのではないか。今後の町の対応を伺う。

【藤田】 袋田コミセンやま

【町長】 昔、木の水門があり閉められたと聞いている。県の河川改修計画とともに町としてどう踏み込め

いん等浸水想定区域が避難所になっている。危険な場所が避難所に指定されていた。防災倉庫の設置も併せて見直しを行うべきではないか。

から危険該当区域に設定す

【町長】 袋田コミセン等々は二次避難が必要と認識している。見直しをしていきたい。備蓄に関しては今後詰めて示したい。

【藤田】 災害に対する専門職員の配置や防災対策室の設置について何度も質問をしてきた。検討はされたか。

しい状況である。応急修理制度を利用し自宅の修理を申請している世帯は現在169件である。生活再建に必要な物資の供与や災害見舞金、被災者再建支援金の支給も行っている。また、健康増進課、福祉課そして包括支援センターの職員が340件のお宅を訪問して心身のケアに努めている。

【町長】 防災危機管理体制の充実については、必要性を感じている。来年度から総務課内に専任の防災担当の配置を検討する。災害対策室は、組織の形状、あり方等を検討し、これに準ずる体制で配置していればと考えている。

【藤田】 「在宅避難者」は何世帯あるのか。また、町の支援策を伺う。

【福祉課長】 自宅の二階、町営住宅、民間の住宅、応急仮設住宅、親戚宅などに居る方など正確な数を把握することは難

【福祉課長】 自宅の二階、町営住宅、民間の住宅、応急仮設住宅、親戚宅などに居る方など正確な数を把握することは難



浸水想定区域にある「まいん」

問 早期の河川改修をすべきでは

答 待っている時間がない。しっかりと訴える



齋藤忠一 議員

【齋藤】地球温暖化による異常気象などにより、今後、今回のような水害が頻繁に起こると思われる。安心、安全な生活を送るためにも、抜本的な河川改修をしなければならぬ。特に、河道掘削や拡幅、築堤を迅速に進めるべきだと思われるが、考えを伺う。

【総務課長】近年、台風や集中豪雨などが頻発しており、自然災害に備えた防災対策の推進が重要な課題と捉えている。そのような

事由から、河川管理をしている茨城県に、また必要に応じて国土交通省や関東地方整備局など国の機関にも強く要望していきたい。

【齋藤】今後、矢田、池田地区の築堤工事や、特に土砂の推積している池田から北田気押川合流地点の河道掘削を、早急にすべきであると思われるが。

【町長】今回の被災に関して、中央省庁へ要望した際、国土交通省等も本当に重く受け止めている。待っている時間もないので、しっかりと訴えていく。

【齋藤】町長は災害後、各省庁に要望活動をしているが、要望内容は。

【町長】一つ目は、久慈川、押川の改良復旧等は国土交通省本省及び関東地方整備局、二つ目が被災した中小

企業者の救済措置について経済産業省に対して要望。三つ目が全損している衛生センターの復旧において環境省に対しそれぞれ要望活動をし、一日も早い復旧、復興に努めている。

衛生センター、復旧補助金を使うべきでは

【齋藤】今回の災害により衛生センターが壊滅的な損害を負った。現在、他の市町村への処理を委託しているが、下水処理のない町にとって重要な施設である。一日も早い復旧を。

【町長】水没により機能が全停止している状態である。処理をするプラントは、かなり精密で大型である。業者の報告では稼働は非常

に難しいとのこと、そういう意味を鑑みると修理ではなく取り替えを考える。

【齋藤】町長はこの件に関して県知事に要望した折、環境省の復旧補助を使うのには町の方針を早急に示すようにと言われている。補助金を使って一日も早く復旧すべきではないか。

【町長】現況のまま復旧した場合、かなりの額の補助が出るというが、現在要望しているのは、同敷地を盛土して同一の処理施設を設置し、その後被災した建物を取壊して撤去する方向で考えている。

家屋解体、店舗、工場に支援を

【齋藤】水害により被災した家屋で、半壊以上の家屋に対し、解体した場合は解体費、処理費が補助されるが、店舗、工場が含まれていない。今後、何らかの支援をすべきでは。

【町長】今後、茨城県被災中小企業復興支援業者補助金という公募が開始される予定であり、公募開始事項の中に事業再開及び事業継続が前提で、撤去費や解体費等が入っている。



水没した衛生センター



久慈川に堆積した土砂

問 自主防災組織間で災害協定を

答 組織の連携はありがたい存在になる



菊池靖一 議員

【菊池】避難や情報収集、町からの情報伝達など自主防災組織との連携はどのように行われたのか。

【総務課長】10月11日に洪水浸水想定区域に所在する自主防災組織の代表者に電話で自主避難所の開設、災害時の連絡体制の確認を行った。12日以降は、避難世帯の把握、被害状況の確認、災害支援の周知、支援物資の送付・配布など地域との連絡窓口として、さらには炊き出しについても協力を

いただいた。

【菊池】今回の水害は、被害に遭った地域より遭わなかった地域の方が多かったが、自主防災組織間で災害に対し、お互いに助け合うような協定を結んでおけば、災害時の対応に大きな力になるのではないか。

【町長】自主防災組織が連携を取れば、町にとっても頼りになりありがたい存在になる。組織の連携については大きな意味があることなので意見交換をしていく。

【菊池】地球の温暖化により、今までに経験のない異常気象が現実のものになってくる。水害に強い町づくりを進めるための考えは。 【町長】ハード面においては、河川改良、内水対策を検討している。ソフト面で

は、防災意識の醸成、防災情報の迅速な伝達、ハザードマップの災害リスクの理解促進、避難行動タイムラインの作成、自主防災組織と共同で進める警戒・救援・応急手当・避難誘導・避難所運営などに取り組んでいく。

新庁舎建設地はさまざま角度から検討を

【菊池】新庁舎の建設場所見直しが行われようとしているが、これまで進められてきたことを大きく変える場合は、さまざまなことをさまざまな角度から検討して、町のビジョンをしつかり町民に伝えるべきと考えがどうか。 【町長】来年また同じよう



災害復旧に大きな力となった災害ボランティアセンター

な台風が来た場合、このままでは冠水する可能性があるるので、このリスクをなく

すため早急に建設地を決めて計画を進めていきたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



私の将来の夢は、カフェのオーナーになることです。

私の家は、りんご園を営んでいて、毎年、たくさんのお客さんが、りんごを買いに来てくれます。

そこで、直売所の二階にカフェをオープンさせて、コーヒーと共に我が家で栽培したりんごを使ったアップルパイや大子町の特産品を使った軽食を提供したいと考えています。



大子西中3年
木澤実夏さん
(大字芦野倉)

ます。奥久慈りんごの美味しさや大子町の魅力を多くの人に知ってもらえる場所になればと思っています。

カフェのオーナーになるためには、コーヒーの入れ方や軽食づくり、さらに食品衛生管理責任者の資格を取らなくてはなりません。

夢を叶えるために、今やるべきことをしっかりと行っていきたいと思えます。

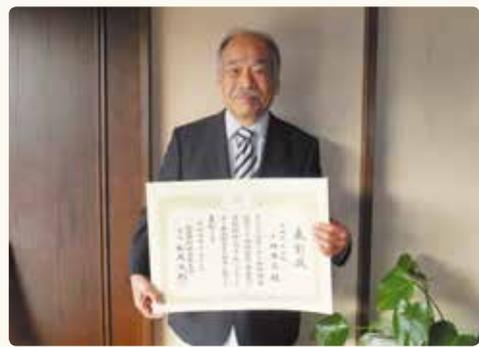
全国町村会議長会 70周年記念表彰

30年以上の永きにわたり町村議会議員として、団体の意思決定、行政監視、政策提案といった議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した方を表彰するもので、吉成好信議員及び小林秀次元議員が全国町村議会議長会から永年功労者表彰を受けられました。



吉成好信議員

小林秀次元議員



令和2年第1回 定例会開催予定

- ▽ 2月12日(水) 開会
- ▽ 13日(木) ~ 16日(日) 休会・自宅審議
- ▽ 17日(月) 一般質問
- ▽ 18日(火) 一般質問
- ▽ 19日(水) 一般質問
- ▽ 20日(木) 逐条審議
- ▽ 21日(金) 逐条審議

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 佐藤 正弘
- 委員 菊池 富也
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 中郡 一彦

あとがき

台風で亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

今回の12月定例会は、台風19号で甚大な被害に見舞われた大子町をどう立て直すのが問われる議会となった。10人の議員が登壇し、執行部の取り組み姿勢をただした。防災対策や水害に強いまちづくりをどう進めていくのか、被災者に対する支援策はどのように考えているのかなど、真剣な議論が交わされた。一日も早い復興と安心・安全な日常を取り戻せるよう、議会と町が先頭になり推進していくことが求められる。

(須藤 明)